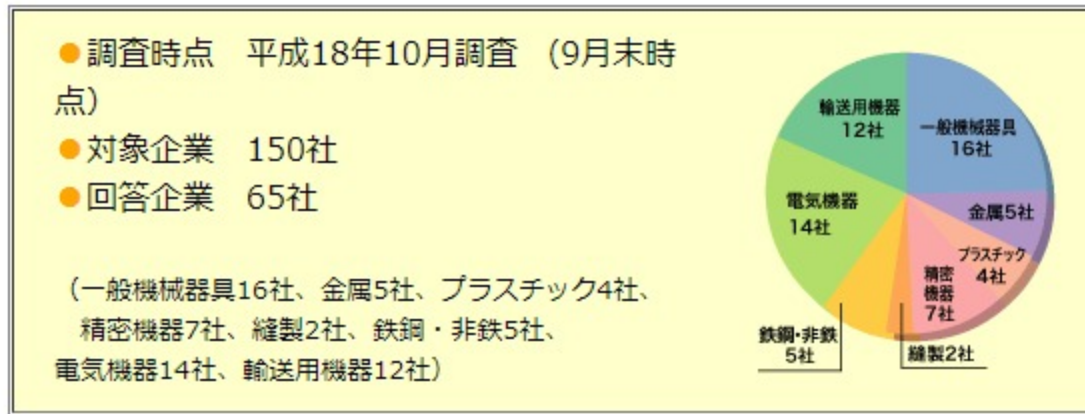


2006.10



前回調査結果（6月末時点）に比べ、生産高の3か月前比は7.7ポイント（前回18.2ポイント）、生産高前年同月比においても15.4ポイント（前回26.0ポイント）となっており、好調持続から若干の陰りが窺える結果となっている。

また、生産高3か月先見通しにおいても18.5ポイント（前回28.6ポイント）となり、同様の結果となっている。

外注利用の見通しについては3.1ポイント（前回6.5ポイント）となっており横ばい推移の見通しとしている。

●生産高

3か月前比の生産高においては、「電気機器」「精密機器」「鉄鋼・非鉄」の業種ではプラス傾向を示しているが、「輸送用機器」「一般機器」においてはマイナス傾向となっている。

前年比生産高においても「縫製」「一般機器」をのぞく業種でプラス傾向を示している。

特に、「金属製品」「精密機器」「電気機器」の業種ではプラス傾向が大きい。

●業況3か月先見通し

業況3か月先見通しでは、「精密機器」「金属製品」「電気機器」「一般機器」でプラスの見通しとしているが、「繊維」ではマイナス傾向にある。

●外注見通し

外注見通しについては、「鉄鋼・非鉄」「電気機器」「精密機器」の業種では良化傾向を示しているが、「縫製」「プラスチック」「金属製品」では悪化傾向にある。

■全業種



■各業種

